

わたしは必ずごみを分別して捨てている。資源になるかどうか、燃えるか、そうでないか、そういう細かな判断を一つ一つの物に対して行っているのだ。確かに面倒で、好まれる作業ではないけれど、地球環境を考えて積極的にやっていきたいと思う。ごみを減量することはとても大切なことだ。野菜のくずや魚の骨、フルーツの皮などはバケツに入れ、よく乾いた腐葉土と半々の割合で混ぜて上から布をかぶせておく。完全に水切りしていないと、そこから虫が発生するので注意が必要だ。水気をよく切って空気をたっぷり含ませると、バクテリアが分解してくれる。時々かき混ぜながら、夏なら2週間、冬なら一か月半で栄養たっぷりの土ができるので、それを家庭菜園などに用いるのだ。これが究極の減量作戦である。

水をきれいにするためには台所排水にも気を遣う。例えば米のとぎ汁は、植木鉢の水やりに使う。米ぬかには油を落とす力があるので、食器を洗うこともできる。こうすれば洗剤を使いすぎることなく、効果的だ。こうして、わたしたちの生活の中から出た物が川や海を汚さないように意識を高めたいと思う。なぜなら、それはすべて自分の暮らしと地球にそのまま戻ってくるものだからだ。きれいな星に生まれた人間は、その美しさを後世にも残すべきだと思う。